

郡山女子大学大学院の概要

目的及び特色

本大学院人間生活学研究科人間生活学専攻は、人間の生活に関する総合的な学問研究をはかり、広く精深な学識と研究能力を養い、今日の人間生活において最も重視すべき人間の在り方を中心として、これにかかる研究者並びに高度な専門職業人の養成を行うことを目的とする。

本研究科は、本大学家政学部人間生活学科（2021年度より生活科学科に改編）及び食物栄養学科（四年制）を基礎とし、修士課程（二年）、さらに博士（後期）課程（三年）を設置している。

人間生活学研究科は家政哲学による「人間守護」の理念に基づき、新しい時代の人間生活の充実発展に寄与することを目的として全国にさがかけて開設し、人と物との関わりにおいて、人間を中心とし、人間の生活を護り、このことを一層向上させるために他の分野の学問をも駆使して、総合的かつ専門的に学ぶことを特色としている。

○修士課程の教育課程は、人間学系Ⅰ・Ⅱ、生活学系、及び生活科学系の三学系46科目よりなり、哲学をベースとして人間守護の理念を基に、各学系が関係しつつ研究を進めるといふ新領域で、人間の生活という総体に対して総合的に研究をするものである。同時に、総合的な理論（theory）の研究とともに、理論の行為化である実践（practice）の意味を究明し、例えば食と福祉と建築の領域における高度な専門的職業人としての能力の修得を図るものである。

（14ページ授業科目一覧参照）

○博士（後期）課程においては、修士課程と連動し、人間学系Ⅰ・Ⅱ、生活学系、生活科学系の合わせて18科目をもって集中的、構造的に授業科目を編成し、家政学～生活学の原理論の確立をはかり、人間の最も根源的在りどころとしての家庭～家政学の本質を究明し、広く、地域、国～世界での生活上の安定のための方途を樹立する。

（21ページ授業科目一覧参照）

本大学院修士課程修了者修士（家政学）・博士（後期）課程修了者博士（家政学）の進路

□修士課程

- ①衣・食・住・社会福祉・介護・生活環境など、多様な生活領域に関する広く深い学識に基づく生活の研究者
- ②高度専門職業人としての管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士・一級及び二級建築士
- ③専修免許状取得者としての高校・中学家庭科教員
- ④修士号と管理栄養士資格をもつ大学・短大の教員
- ⑤消費者・生活者関連行政を担当する公務員
- ⑥知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材

□博士課程

- ①家政学及び生活学の原理論を研究し、家政学や栄養学を担当する大学教員
- ②行政機関における消費者・生活者問題に関する高度な専門研究者
- ③家政学の高度な知識により企業と消費者をつなぐ企業社員
- ④豊かな学識をもって生活問題を解説するジャーナリスト

アドミッション・ポリシー

□修士課程

人間生活について総合的な視野を持ち、専攻分野の研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度な能力を有する人材を育成する。生活研究者、高度の専門性を有する管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士・一級及び二級建築士、専修免許状家庭科教員、修士号・管理栄養士資格をもつ大学・短大教員、生活関連行政担当公務員、知識基盤社会を支える人材、などを目指す学生を希望する。

□博士課程

専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要の高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有する人材を育成する。家政学や栄養学担当大学教員、行政機関での生活問題専門研究者、高度な人間生活学の知識により消費者と企業をつなぐ企業社員、生活問題解説ジャーナリスト、などを目指す学生を望む。